

令和5年度岡山県スポーツ推進委員協議会 第1回女性委員会 議事要旨

日 時 令和5年5月16日（火）

10:00～12:00

場 所 ピュアリティまきび 2階「ルビー」

出席者 9名出席（3名委任状）

1 開 会

2 あいさつ

赤木会長あいさつ

岡崎委員長あいさつ

3 協議内容

（1）令和5年度女性委員会委員について

【事務局】

- ・女性委員会規約について確認
- ・今年度は役員改選期ではないため、役職及び委員については令和4年度に引き続いて構成、運営していくことを確認
(→ 一同、同意)

（2）令和5年度各支部女性委員会の活動について

○各支部から報告（会議資料参照）

〈美作支部〉

- ・女性委員だけで行う活動をなくしている。
- ・支部の研修会は県の研修会（7/1～7/2）と兼ねる。
- ・実践発表会（会場：しらうめ体育館）のユニバーサルスポーツは4種目を行う予定。（車椅子バドミントン・卓球バレー・ボッチャ・フライングディスク）
- ・発表会は湯原中学校で行い、今年度は、情報交換会も行う。

【事務局から】

- ・改めて県の研修会の申込書を送付するので確認の上、提出してほしい。

【委員から】

- ・今年度は新庄村の女性委員数がゼロだが、来年度はぜひ推薦したい。

(3) 女性委員会の今後の在り方について

○専門委員会との統合について

【事務局から】

- ・令和4年度第2回女性委員会及び令和5年度第1回専門委員会で出た意見や概要について説明。(資料記載のとおり)
- ・専門委員会としてもバージョンアップしていかなければならないし、一緒になって新たな組織としてスタートが切れれば、より活性化していいのでは。

【委員から】

- ・専門委員会の活動内容がわかりづらい。
- ・平日日中に参加することが特に若手は難しい。
- ・新しい大きな組織になって積極的に女性の意見が出せる場となるなら統合には賛成である。また違った意見も出てより活性化してよいと思う。

【岡崎委員長】

- ・女性委員会で話した内容は地域や上には上がっていないので統合して新しい組織になって意見が出せるようになれば、良いサイクルになると思う。
- ・あまり大きな組織になりすぎても意見が出しづらいが、各支部4名なら問題ないと思う。

【名称について】

- ・新たな組織としてスタートするなら新たな名称がよいのでは。
- ・次回までの宿題とする

【今後の方向性】

- ・組織としては専門委員会と一緒にやっていくということでよいか。
→ 一同、同意。
- ・今年度一年かけて検討し、第2回理事会に諮る。理事会承認後、令和6年度の改選期に合わせて新体制でスタート予定。
- ・今年度は3回女性委員会を開催する。
次回(2回目)で規約等・細かい内容を決定。
3回目は専門委員会と合同予定。

(4) 参考資料について

○参考資料を基に説明

- ・各種大会予定について、今年度の生涯スポーツ・体力づくり全国会議は愛媛県で開催予定。
- ・2年後の令和7年度中国地区の研修会は岡山県で行う。備南支部は心づもりを。
- ・本県のスポーツ推進委員数の推移については、女性割合はここ数年ほぼ横ばい。全国的な委員数総数は減少傾向。
倉敷市で2名増（男女・各1名）

4 その他

○地域のスポーツ推進委員の活動内容の広報・発信方法についてどのようにしているか。

- ・学校現場の方から何の活動を行っているのか伝わっていないことがショックである。まだまだどういった活動をしているのかが、地域に伝わっていない。

【委員から】

- ・メディア（ケーブルTV等）でスポーツ推進委員が「New スポーツ」を実践しているのを放映してもらっている。顔を出すことが大切だと思う。
- ・広報誌（新聞）を作成し、学校・公民館に配布したり地方紙に載せてもらっている。HPへの掲載等。
- ・月1回の定例会で活動内容を報告している。
- ・地域ごとに抱えている問題は異なるが、もっと活動内容を発信する場が必要。
- ・平日に派遣できる方が少ないことも課題。

【事務局から】

- ・教育委員会の発信が足りていない。（任命権者である責任感が弱い。）
- ・各市町村のスポーツ主管課との連携も必要。
- ・行政としてのウエイトが市町村によって異なるのも大きいと思う。
- ・岡山スポーツNaviの積極的な活用を。（個人団体問わず無料で登録可）

5 閉 会